

大人の時間

冬の佐渡に行こう。新潟港から船に乗り込む。荒い海を越えて両津港へ。トキの舞う島は銀世界だった。
(塩塚保)

トキを見守る白銀の佐渡



荒々しい波が打ちつける佐渡の海岸。暗い雲が天を覆う
＝相川地区のホテル吾妻前（塩塚保撮影）



白い雪に包まれた大蔵神社の能舞台。地元の人々が能を舞う
＝真野地区



能楽師、世阿弥が配流された正法寺。東の間、青い空が広がった

棲みやすい環境作り

トキ保護センターがある新穂地区。森も田んぼも白い雪に包まれている。「佐渡トキの田んぼを守る会」会長、斎藤真一郎さん(49)の案内で放鳥されたトキの生息地を訪れた。

「静かに待っててください。トキが現れても決して騒がないでください。近寄ってもだめです」

午後3時40分。遙か彼方。南の空から白い鳥が飛んできた。冬の陽光を浴びて、透き通るような朱鷺色の羽が輝く。トキだ。ゆったりと舞うように飛ぶ。「ター、ター」と鳴いた。

5分後。もう1羽が現れた。さらに25分後には、2羽がいっしょに飛んできた。雄と雌のペアだろうか。鳥民でさえ、めったに会うことができないという美しい鳥。わたしは肉眼で見たのだ。感動した。

トキは3年前から順次放鳥された。佐渡には19羽ほどが自由に空を飛ぶ。エサはドジョウ、カエル、ミミズ、貝など。斎藤さんたちは無農薬や減農薬の農法に取り組み、トキが棲みやすい環境整備を行っている。実際にやるのはたいへんだ。田

んぼには容赦なく雑草がはえる。腰をかがめ、雑草を抜く作業はひどく疲れる。米の収穫量も減る。それでも仲間は25人に増えた。斎藤さんは笑顔で語る。

「トキが自分の田んぼに来たらうれしいもんで、農家の意識はいっぺんに変わる。トキが棲みやすい環境は人間にもいい。トキの里の米としてブランド価値が高まっているのもいいね」

海外からも農業体験

一方、農家民宿「植えた」を運営する植田日出夫さん(67)は許可を得てどぶろくを作っている。朱鷺色のどぶろくに挑戦した。

「やるからには一番にやる。鳥おこしにもなる」

精米した米を蒸し、小さなタンクにいれて仕込む。ひと工夫して紅麹を使った。ふくふくと発酵していく。2週間後、きれいな朱鷺色のどぶろくができあがった。

民宿は長期滞在可能。米やみそ作り、柿や洋ナシの収穫など農業を体験できる。イギリスやフランスなどからも宿泊客が訪れるようになったという。



美しい朱鷺色の羽根を大きく広げて飛翔するトキ
—2010年12月27日、新潟県佐渡市（大山文兄撮影）



「佐渡トキの田んぼを守る会」の斎藤真一郎さん（左）と井川浩一さん。「トキの群れは、それは美しい」という
—新穂地区



放鳥されたトキが生息する森。夕方、エサを食べ終えたトキたちがねぐらに帰ってくる
—新穂地区

伝統の酒造りに徹する尾畑酒造。平島健社長は東京の編集者から転身した



朱鷺色のどぶろくを仕込む植田日出夫さん。2週間ほどでおいしいどぶろくに仕上がる
—農家民宿「植えた」

天然寒ブリ・地酒…身も心もあたたまる

➔ 「朱鷺の島で醸す酒」一。尾畑酒造は伝統にこだわる。米は佐渡の契約農家で栽培。清冽な水は山脈からわき出る。社氏と蔵人は泊まり込み、昔ながらの手法で酒を仕込む。

社長の平島健さん（46）は角川書店の編集者だった。尾畑酒造5代目の尾畑留美子さん（45）と東京で出会い、結婚した。留美子さんの帰郷とともに佐渡に移り住んだ。

「いまの仕事は挑戦しがいがあります。自分で仕掛けて自分で責任をとる。酒造りの醍醐味を日々、味わってます。佐渡は食が豊かですし、

ただ、冬は寒い。正直、たいへんです」尾畑酒造の「真野鶴」（大吟醸）は香り高い。エールフランス航空のファーストクラス機内酒として採用されている。

冬の佐渡は寒ブリだ。新鮮な天然ものを味わうことができる。昼食。「長三郎」でブリカツ丼を注文した。佐渡の新しいご当地グルメだ。料理店が競い合っている。うまい。がつつと、かつ食らった。

宿は、佐渡金山に近い相川地区のホテル「吾妻」。青々とした海を望む露天風呂にゆったりとつかう。日が暮れて空と水平線の境が溶けてい

く。夕食は寒ブリ尽くし料理だった。刺身、照り焼き、寿司…。地酒を酌み交わす。体と心があたたまっていく。

大膳神社の薪能

佐渡はまた、能の島でもある。室町時代、能楽師の世阿弥が配流された。正法寺で晩年をすごしたと伝えられる。島内にはたくさんの能舞台があり、島民たちが自ら演ずる。大膳神社では薪能が催されるが、数冬期は雪に閉ざされる。茅葺きの能舞台。降り積もる雪。静謐な時間が流れていた。



冬の佐渡には新鮮な天然寒ブリが揃がる。刺身、照り焼き、そしてブリカツ丼も美味しい—新穂地区の長三郎



ホテル吾妻 新潟県佐渡市相川大浦548の1。☎0259・74・0001。佐渡で夕陽が一番近い宿。若女将の深見聖子さんは舞台女優を志望していた。

農家民宿 植えた 新潟県佐渡市中興乙1464。☎0259・63・3561。1日1組限定の宿。自家栽培の野菜を使った郷土料理とどぶろくがおいしい。

@EX_editor

冬の佐渡は、全島、朱鷺色に染まっていた。環境、産業、観光…。すべてのキーワードは、トキ。一度、絶滅したが、復活した。日本を代表する美しい鳥は、春に再び、放鳥される。トキに会える機会が増えそうだ。